

# 学校再編 について

令和8年2月

三芳町教育委員会



# 学校再編による教育的効果

1. 小規模校の現状と課題

3. 小規模校解消の  
メリット

2. 小規模校の検討

4. 求められる  
「新たな学び」

学校再編をすることによる教育的効果について、各項目に沿って順次説明していきます。

# 小規模校の現状と課題

小規模校  
のよさ

人間関係  
が深まり  
やすい

きめ細かな  
指導

行事などで  
全員が主役  
になれる

小規模校  
の課題

人間関係  
の固定化

男女の偏り  
1クラスに  
男(女)の子が  
2人か3人

学び合いや  
相互に刺激を  
受ける機会が  
限られる

多様な  
指導体制が  
とりづらい  
習熟度別学習  
教科担任制

教職員の  
負担が  
大きい

学校行事  
集団活動が  
制約される

# 小規模校の課題解決策についての検討

## 小規模特認校

少人数を生かした指導などを展開する小規模校を教育委員会が小規模特認校に指定し、町内全域から特別に児童の入学を認める制度

## 学区自由制

学区を超えて町内全域から特別に児童の入学を認める制度

- ・先行事例を参考にすると、本町の小規模校の課題解決に至る児童数には及ばない。
- ⇒学区外から、クラス替えが可能になるほど多くの児童の入学は見込めず、**小規模化の解消とはいかない可能性がある。**
- ・通学区域が広範囲になり、**通学の負担が発生する。**

課題  
解決

## 学校再編により

- ・児童数が増えて、クラス替えが可能になる。
- ・学年に複数の教員がいることで、多様な指導体制がとれる。教員の負担軽減につながる。

# 学校再編により…

子どもがふえる

多くの同世代と経験を  
重ねることができる



共に学ぶ  
協調性を育む

認め合い  
協力し合う

教員がふえる

多様な学びと  
専門的指導

児童生徒の  
理解度や特性  
に応じた学び

教員の負担軽減

教員の  
専門性や  
経験年数の  
偏りの解消

1人に負担が  
集中しない  
教材研究に  
時間を  
かけられる

# 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実（イメージ）

## 主体的な学び

学ぶことに興味や関心を持ち、自己のキャリア形成の方向性と関連付けながら、見通しを持って粘り強く取り組み、自己の学習活動を振り返って次につなげる

## 対話的な学び

子供同士の協働、教職員や地域の人との対話、先哲の考え方を手掛かりに考えること等を通じ、自己の考えを広げ深める

## 深い学び

習得・活用・探究という学びの過程の中で、各教科等の特質に応じた「見方・考え方」を働かせながら、知識を相互に関連付けてより深く理解したり、情報を精査して考えを形成したり、問題を見いだして解決策を考えたり、思いや考えを基に創造したりすることに向かう

## 主体的・対話的で深い学び

学習指導要領 総則 第3 教育課程の実施と学習評価

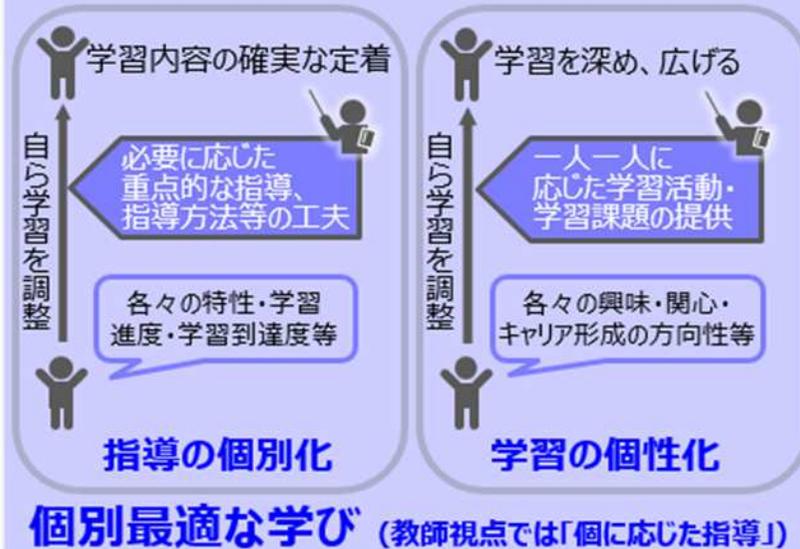
学習指導要領 総則 第4 児童(生徒)の発達の支援

授業改善

一体的に  
充実

授業外の  
学習の改善

資質・能力の育成



修得主義 ・個々人の学習状況に応じて学習内容を提供 ・一定の期間における個々人の学習の状況・成果を重視  
の考え方を生かす

の考え方を生かす

・集団に対して共通に教育を行う ・一定の期間の中で個々人の多様な成長を包含

履修主義  
の考え方を生かす

異なる考え方が組み合わせり  
よりよい学びを生み出す



協働的な学び

クラスメイト



異学年・他校の子供



地域の人



専門家



等

これからの学校には……一人一人の児童(生徒)が、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるようにすることが求められる。

平成29,30年改訂  
学習指導要領 前文

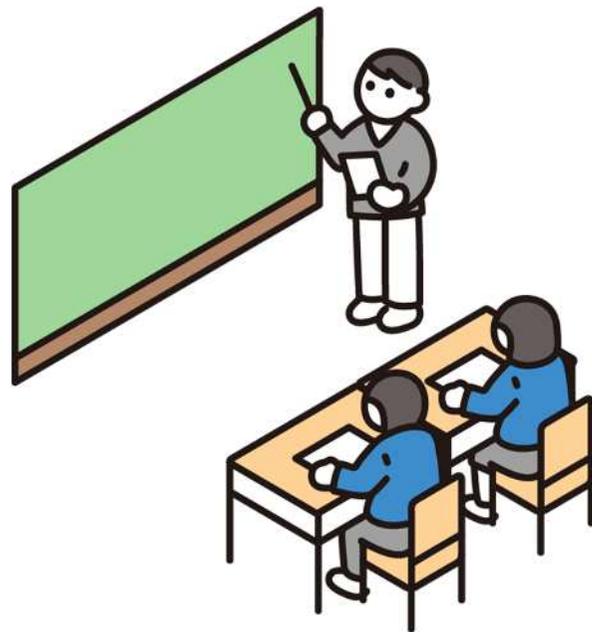
※本資料は、「教育課程部会における審議のまとめ」（令和3年1月25日中央教育審議会初等中等教育分科会教育課程部会）に基づき、概念を簡略化し図等として整理したものである。

# 求められる「新たな学び」

「学びの質の向上」  
「よりよい教育環境の整備」

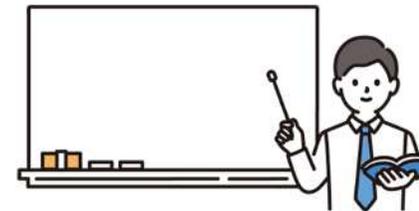
これまでの学び

一斉授業



これからの学び

複線型授業



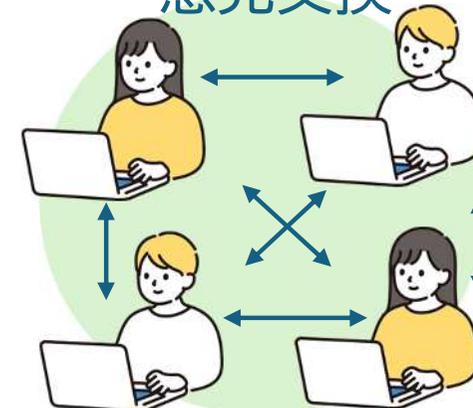
協働



一人集中



意見交換

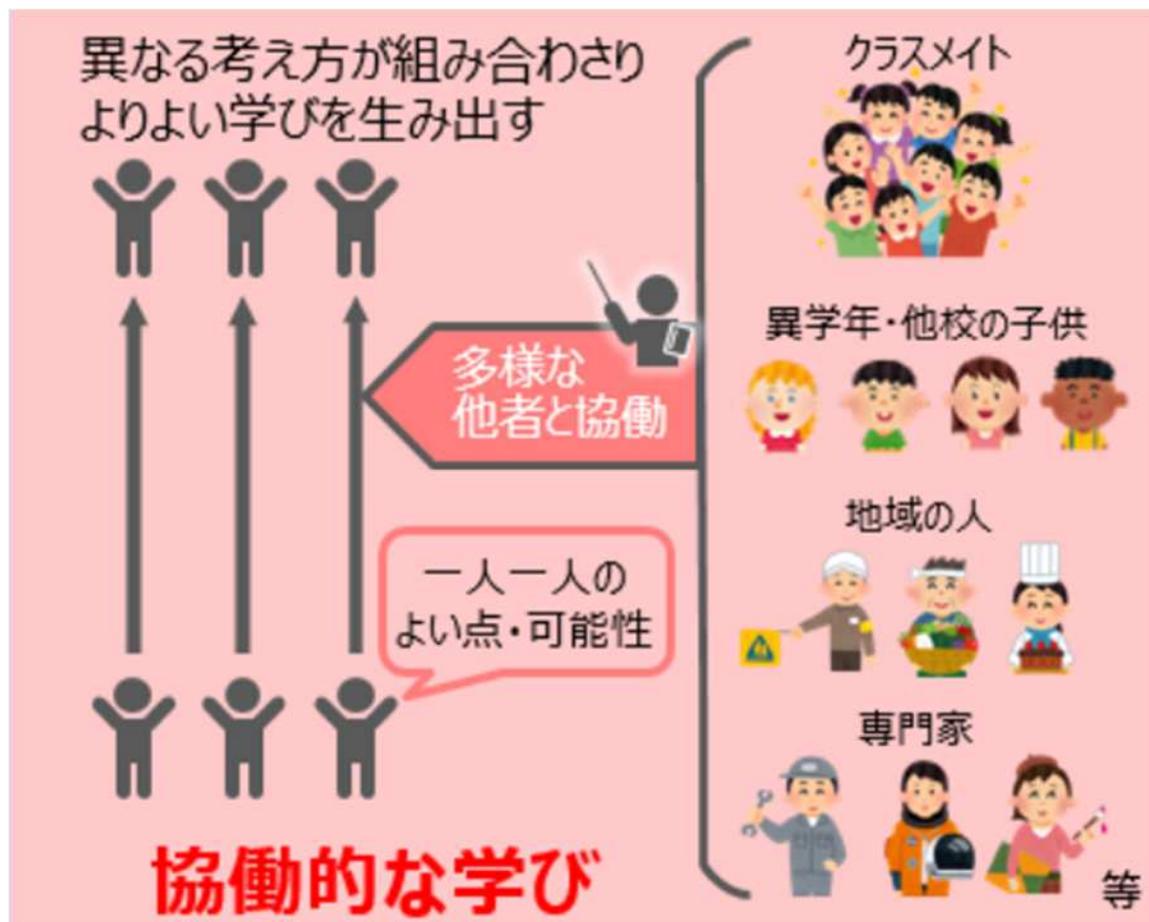


## 小規模校を解消することで見出せる可能性

### ①1学級あたりの児童生徒数が増える

★これからの社会で求められる能力

「答えのない課題」に対して、多様な他者と協働しながら目的に応じた納得解を見いだすことができるようにする力



(イメージ)

児童生徒数が増える



異なる考え方を持つ

多様な他者と協働すること...



グループ活動の充実、  
学び合いの推進を図  
ることができる

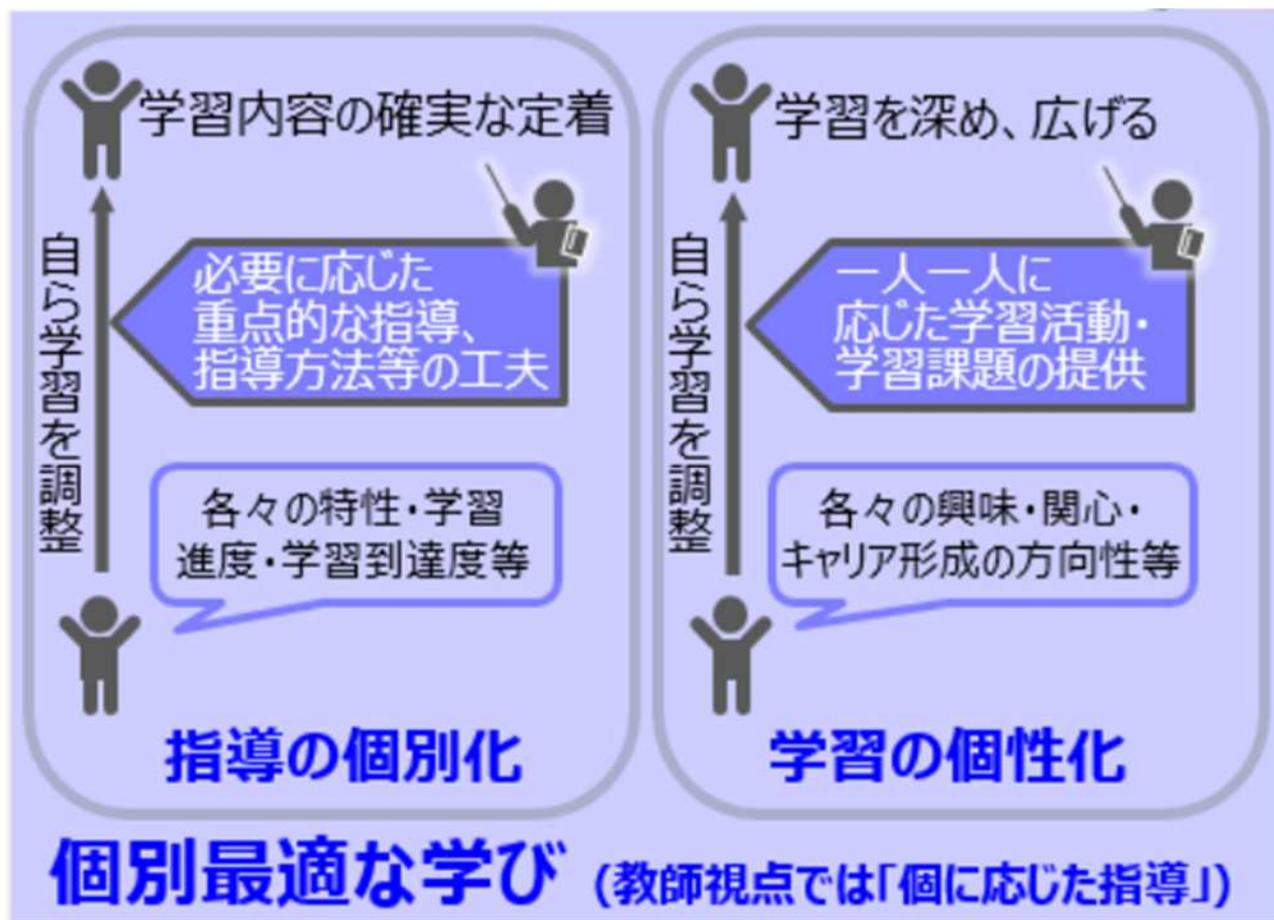
## ②クラス替えが可能になる

- ・固定化された人間関係の解消
- ・多様な人間関係の構築  
→新たな出会い、学びの機会
- ・新年度への期待、喜び、やる気

## 小規模校を解消することで見出せる可能性

### ③教職員の人数が増える

★ 教職員の人数は、学級数(児童生徒数)によって決まる



(イメージ)

教職員が増える



少人数指導、TT指導、専科指導など児童の実態や教科の特性に応じた多様な指導形態が可能となる

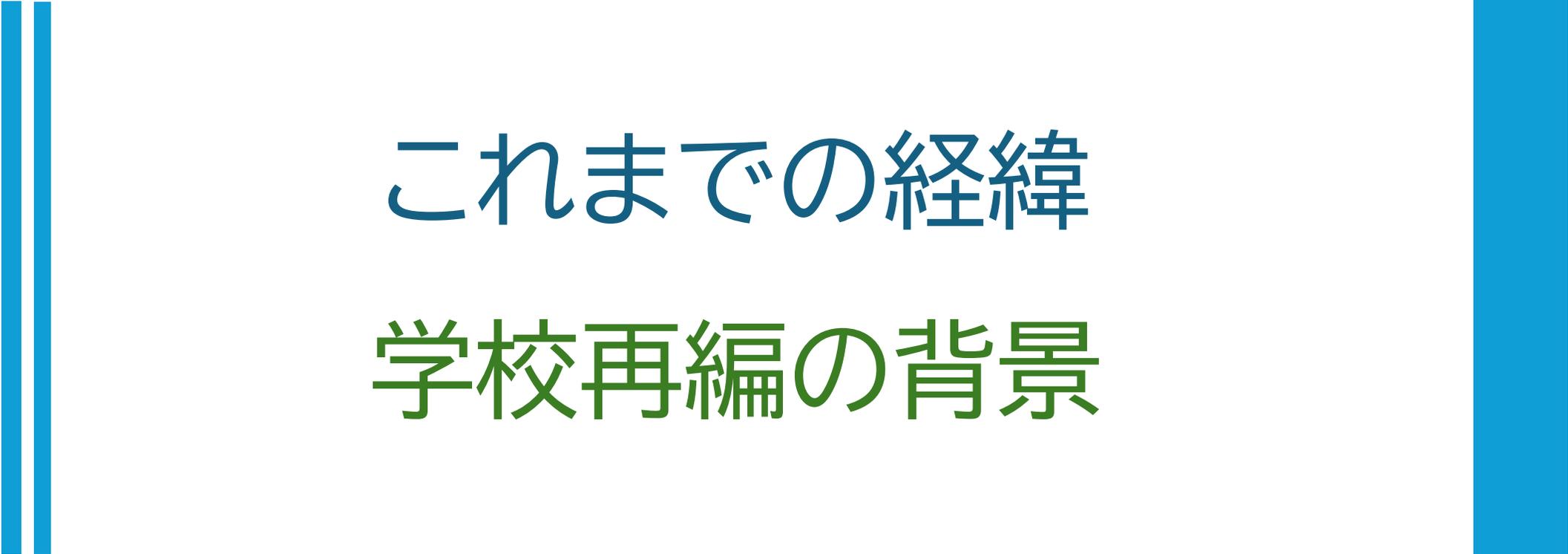


個別最適な学び  
(指導の個別化)

## ④教育活動の幅(選択肢)が広がる

- ・各教科の授業や学校行事などで、多様な種目や形態での集団活動が可能になる
- ・クラブ活動や委員会活動など、児童生徒の興味関心に応じた活動の場が確保できる  
→個別最適な学び(学習の個性化)

学校再編により小規模校を解消することで、教育の幅が広がります。多様な考え方を持つ児童生徒同士で学び合い、多くの教員による個に応じた多様な指導形態で子どもの学びが深まることが期待されます。



これまでの経緯  
学校再編の背景

## これまでの経緯

(令和4年度～令和6年度)

### 令和4年度

- (5月～)適正規模適正配置検討委員会  
会議5回
- (10月)学校の適正規模適正配置  
のアンケート実施
- (12月)「適正規模適正配置報告書」
- (2月)「適正規模適正配置基本方針」策定

### 令和5年度

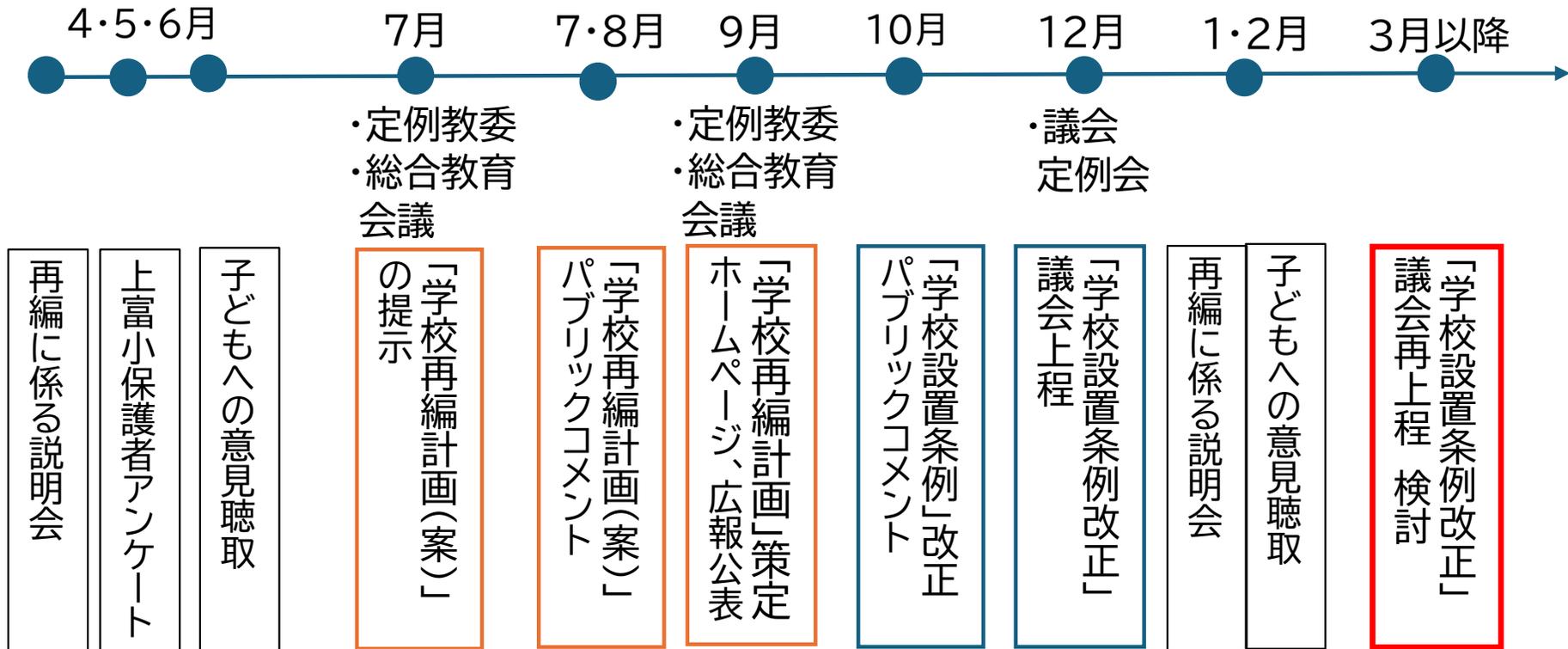
- 学校再編等審議会 会議5回
- (7月) 三芳町及び三芳町教育委員会から  
学校再編等審議会に対して、諮問
- (2.3月)上富小学校の再編(統廃合)  
に係る意識調査

### 令和6年度

- 学校再編等審議会 会議6回
- (6月)竹間沢小学校の再編(統廃合)  
に係る意識調査
- (2月)学校再編等審議会より  
「三芳町立小中学校の再編に  
ついて(答申)」
- (3月)学校再編に関する説明会
  - ・学校教職員
  - ・学校運営協議会委員
  - ・町連合PTA連絡協議会委員
  - ・上富小学校保護者・未就学児保護者

# 学校再編のこれまでの歩みとこれから

(令和7年度)



(4月説明会)

上富小学校保護者 区長会	(中学校区ごと)保護者、地域の方 学校運営協議会委員
-----------------	-------------------------------

(令和6～7年度)  
説明会 全29回

# 学校準備委員会

令和8年度から2年間で予定

学校を統合するには、様々な検討事項があります。通学体制や学用品、学校運営やPTA組織などの検討事項について、3つの検討部会を設置し、検討していきます。

## 部会の構成(案)

全14名

部会	構成員(案)
総務部会(5名)	教頭2名 PTA会長2名 区長1名
通学部会(5名)	教務主任2名 PTA会長2名 区長1名
教育部会(4名)	校長2名 学校運営協会委員2名

## 総務部会

- ・学用品
- ・放課後
- ・記念事業
- ・PTA組織/事業など

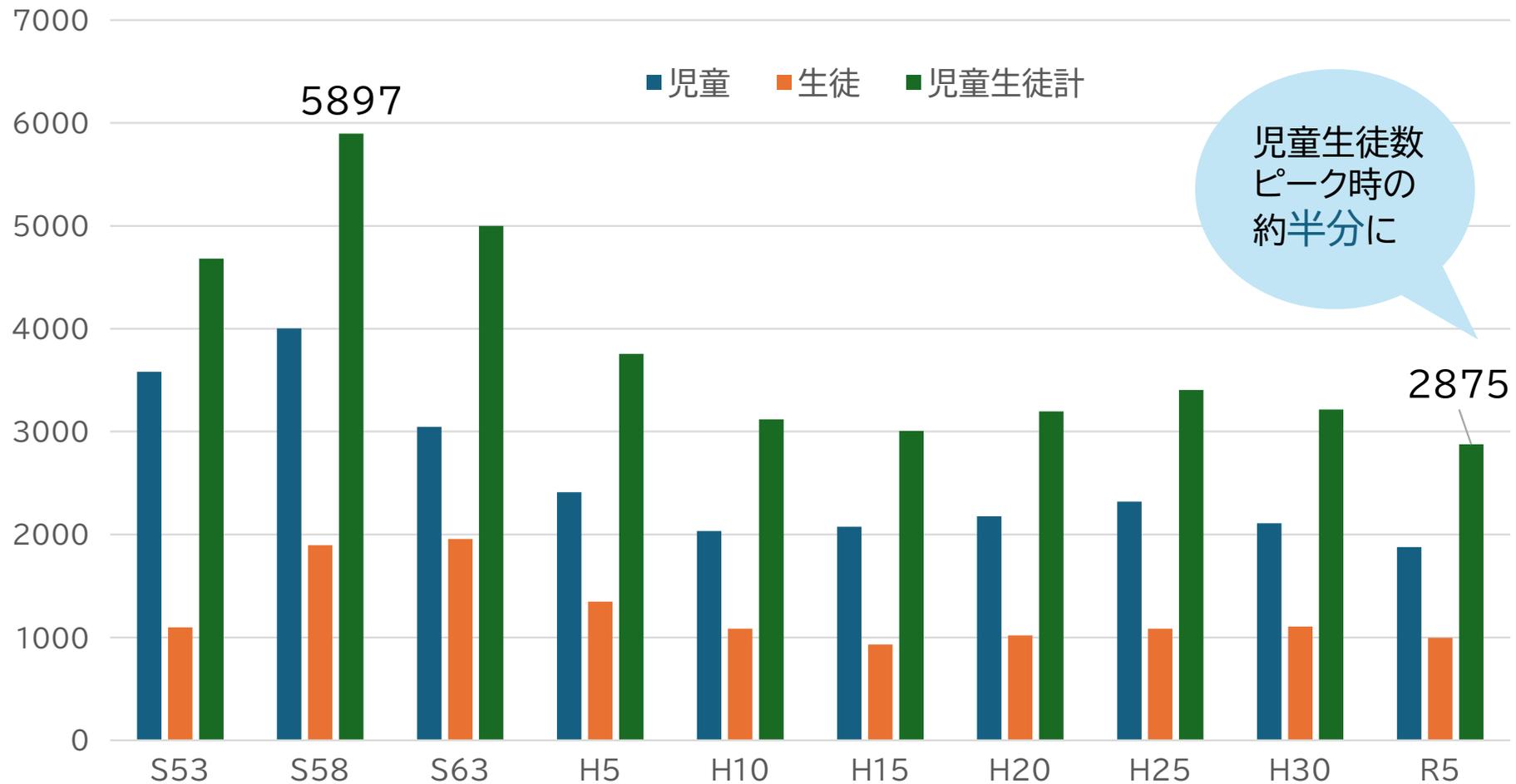
## 通学部会

- ・通学路
- ・通学方法
- など

## 教育部会

- ・教育計画
- ・心のケア
- ・児童の交流 など

# 三芳町の児童生徒数の推移及び推計



児童生徒数  
ピーク時の  
約半分に

児童生徒数は、多くの学校が建設された昭和50年代と比較して、約半数となっており、少子化の流れにより今後も減少が続く見込みです。

## 学校施設の計画的な改修

### 目指す姿

「安心安全の学習環境整備と適正化」（三芳町教育大綱の基本目標より）

#### 施設 整備

- ・ 老朽化が進む学校施設について、施設整備に係る維持・更新コストを総合的に抑制していくための計画的な改修を実施します。

#### ICT 活用

- ・ ICTを活用した教育など、新しい時代に対応するための教育環境を整備します。

#### 環境 整備

- ・ 学校再編等を検討し、児童生徒がより望ましい教育環境の中で学習に取り組めるよう、整備・充実に努めます。

当町の学校施設の多くは築50年が経過しています。これまで、耐震補強工事や校舎トイレ改修工事、学校ごとの改修工事などを行ってきましたが、老朽化が進んでいます。今後も安全で快適な学習環境を維持・確保するため、今以上に施設の老朽化対策を進めるべく計画的な改修を実施していく必要があります。

## 本町における適正規模・適正配置の基準

望ましい教育環境 ～三芳町立小中学校適正規模適正配置の基本方針より～

### (1) 学校の適正規模の基準

【小学校】1学年2学級以上

多様な考え方に触れるとともに、新たな人間関係を築くため、クラス替えが可能である

【中学校】全学年で12学級以上

小学校と同様にクラス替えが可能であるとともに、全ての教科で専門の教員数を確保できる

### (2) 学校の適正配置の基準

【小学校】おおむね3km 程度

【中学校】おおむね4km 程度

少子化の将来的な見通しにより、学校の小規模化が進む見込みです。子どもたちに「学びに向かう力」を育て、望ましい教育環境を提供するため、一定の学校規模を維持し、学校再編を検討する必要があると考えます。

# 上富小学校と三芳小学校の状況

令和11年度には新1年生が  
1クラス5人になります。

## 上富小学校の児童数・学級数の将来推計

	R7	R8	R9	R10	R11	R12
1年	1 (12)	1 (12)	1 (16)	1 (14)	1 (5)	1 (13)
2年	1 (16)	1 (12)	1 (12)	1 (16)	1 (14)	1 (5)
3年	1 (14)	1 (16)	1 (12)	1 (12)	1 (16)	1 (14)
4年	1 (20)	1 (14)	1 (16)	1 (12)	1 (12)	1 (16)
5年	1 (19)	1 (20)	1 (14)	1 (16)	1 (12)	1 (12)
6年	1 (9)	1 (19)	1 (20)	1 (14)	1 (16)	1 (12)
児童数計	6 (90)	6 (93)	6 (90)	6 (84)	6 (75)	6 (72)

※令和7年4月1日現在

上富小学校は令和7年4月時点で全校児童数90人、令和11年度入学予定者が5人で全校児童数は75名と見込まれています。

また、上富小学校区はほぼ全域が市街化調整区域であり、今後の住宅開発やそれに伴う児童数増が見込まれにくい状況です。

# 上富小学校と三芳小学校の状況

## 三芳小学校の児童数・学級数の将来推計

	R7	R8	R9	R10	R11	R12
1年	2 (44)	1 (30)	2 (39)	2 (41)	1 (26)	1 (34)
2年	2 (51)	2 (44)	1 (30)	2 (39)	2 (41)	1 (26)
3年	2 (59)	2 (51)	2 (44)	1 (30)	2 (39)	2 (41)
4年	2 (66)	2 (59)	2 (51)	2 (44)	1 (30)	2 (39)
5年	3 (71)	2 (66)	2 (59)	2 (51)	2 (44)	1 (30)
6年	2 (65)	3 (71)	2 (66)	2 (59)	2 (51)	2 (44)
特支	2 (11)	(9)	(6)	(3)	(3)	(2)
児童数計	15 (367)	12 (330)	11 (295)	11 (267)	10 (234)	9 (216)

100人減

※令和7年4月1日現在

三芳小学校は、令和7年度から令和10年度までの3年間で全校児童数が367人から267人と、100人の減少が見込まれています。

三芳小、上富小ともに、今後も児童数が減り続けていく見込みであり、特に上富小では1クラス当たりの人数が減っていく見込みであることから、令和10年度に再編できるよう準備を進めていく必要があると考えます。

# 上富小学校と三芳小学校の状況

統合後の学校の児童数・学級数の見込み（特別支援学級を含まない）

	R10	R11	R12	R13
1年	2 (55)	1 (31)	2 (47)	2 (38)
2年	2 (55)	2 (55)	1 (31)	2 (47)
3年	2 (42)	2 (55)	2 (55)	1 (31)
4年	2 (56)	2 (42)	2 (55)	2 (55)
5年	2 (67)	2 (56)	2 (42)	2 (55)
6年	3 (73)	2 (67)	2 (56)	2 (42)
合計	13 (348)	11 (306)	11 (286)	11 (268)

※令和7年4月1日現在

両校が統合すると、ほぼ全ての学年が複数学級となり、クラス替えが可能になり、多様な集団活動や授業展開等が期待されます。

# 上富小学校と三芳小学校の再編についての配慮事項

1. スクールバス等について

4. 心のケアについて

2. 学用品について

5. その他について

3. 教育計画(学校行事)  
について

上富小学校と三芳小学校の再編にあたっては、保護者や地域住民、児童からたくさんのご意見やご質問をいただいております。  
特にご意見が多かった項目について、順次説明していきます。

# 1. スクールバス等について

## スクールバスによる通学について

通学方法に関するご意見(意見聴取会・アンケートから)

- ・スクールバスによる通学を検討してほしい
- ・子どもたちが安心して学校へ通える環境づくりを考えてもらいたい

### 【対処方法】 案

学校の統合で、**三芳小学校から一定距離以上**の上富小学校区の児童に対しては、**スクールバスによる通学支援**を行う

- ・通学方法については、**スクールバス及び徒歩**とする
- ・スクールバスの費用は、保護者負担を求めず、**無償とする**

スクールバス利用に関する諸課題については、学校準備委員会において今後具体的に検討します。

## スクールバスの範囲について① 距離

通学距離に関するご意見(意見聴取会・アンケートから)

- ・なるべく多くの子が対象になるように考えてほしい
- ・特に夏場の炎天下で歩くのは身体的負担が大きい
- ・低学年の子が3kmもの距離を歩くのは大変である

### ○事務局案

・学校準備委員会に提案する事務局案として、スクールバスによる通学支援の対象範囲について、三芳小学校からの通学距離を、適正配置の基準である3.0kmに加えて、低学年の通学の安全性を考慮し、2.0km、2.5kmの3案を提案し、委員会において協議することとする

スクールバスの乗車範囲については、これまでの意見聴取会などで保護者の方からいただいたご意見等も踏まえて検討しております。

## スクールバスの安全対策について

- 交通指導員の配置や、バスの乗降車の安全確認を行うための人員配置等を行い、安全確保に努める
- 降車時は置き去り防止装置をつけて運転手が確認する、学校と役場、委託会社でバスの位置情報を確認するGPS装置の導入等を検討
- バスの運行ルートや乗降場所は、試運転で検証することを検討
- 埼玉県の通学路整備計画の策定に合わせて「通学路安全総点検」により、三芳小学校区も含めた町内全小中学校の通学路について検証を行い、必要な対策を講じていく

## スクールバスの乗車場所

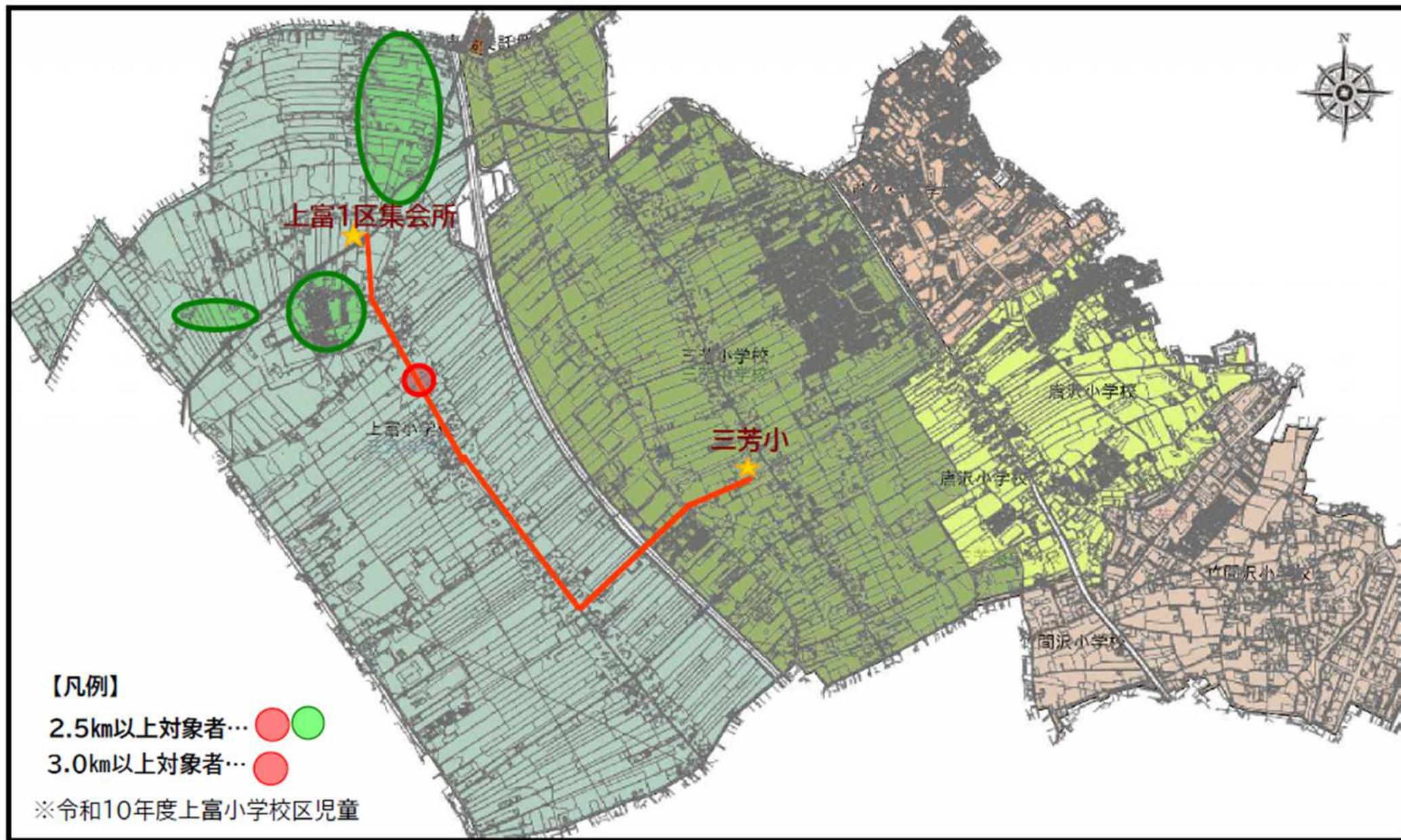
- 具体的な乗車場所については、利便性と安全性に配慮し、児童の待機場所として十分なスペースが確保できる場所を念頭に、学校準備委員会で検討していく

### ○事務局案

- 三芳小からの通学距離2.5km以上、3.0km以上が対象の場合  
上富1区集会所を候補として検討
- 三芳小からの通学距離2.0km以上が対象の場合  
乗車対象となる児童の範囲が広がるため、2コースに分ける  
Aコース 上富1区集会所を候補として検討  
Bコース 上富小学校付近、下組付近を候補として検討

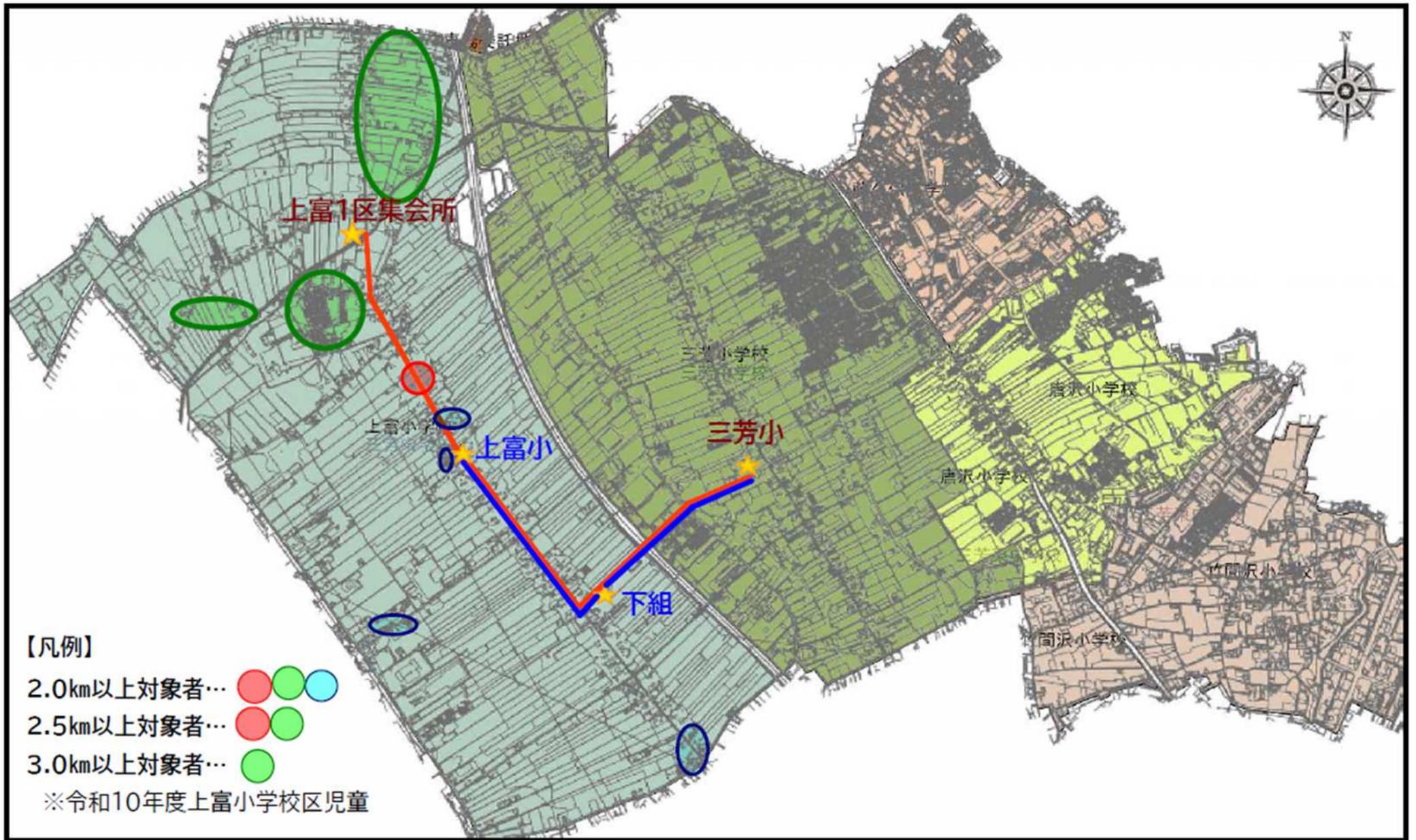
スクールバスの運行を想定した位置図の案は、次の通りです。

# 三芳小からの通学距離2.5km以上、3.0km以上 想定ルート



1 / 25,000

# 三芳小からの通学距離2.0km以上 想定ルート



## スクールバスの運行ルートの想定

○事務局案（授業日平日運行の場合）

- 三芳小からの通学距離2.5km以上、3.0km以上の場合

【登校時】 上富1区集会所～三芳小方面 バス1台×1便

乗降場所	時刻
上富1区集会所 発	7:50
三芳小学校 着	8:10

【下校時】 三芳小～上富1区集会所方面 バス1台×2便

1便目

乗降場所	時刻
三芳小学校 発	14:30
上富1区集会所 着	14:50

2便目

乗降場所	時刻
三芳小学校 発	15:20
上富1区集会所 着	15:40

## スクールバスの運行想定

- 三芳小からの通学距離2.0km以上の場合

【登校時①】 上富1区集会所～三芳小方面 バス1台×1便

乗降場所	時刻
上富1区集会所 発	7:50
三芳小学校 着	8:10

【登校時②】 上富小～下組～三芳小方面 バス1台×1便

乗降場所	時刻
上富小学校 発	7:50
下組 発	8:00
三芳小学校 着	8:10

## スクールバスの運行想定

- 三芳小からの通学距離2.0km以上の場合

【下校時①】 三芳小～下組～上富小～上富1区集会所 バス1台×1便

乗降場所	時刻
三芳小学校 発	14:30
下組 着	14:40
上富小 着	14:50
上富1区集会所 着	15:00

【下校時②】 三芳小～下組～上富小～上富1区集会所 バス1台×1便

乗降場所	時刻
三芳小学校 発	15:20
下組 着	15:30
上富小 着	15:40
上富1区集会所 着	15:50

## 2. 学用品について

## 学用品について

### ○事務局案

学校指定の物品については、保護者に多大な負担がかからないよう、買い替えが必要な学年に対して公費での全額負担(保護者負担なし)を検討する

【三芳小の学校指定の購入品等】 ※価格は令和7年度12月時点

品目	販売価格	合計金額
通学帽子(紺色)	860円	(1年生) 6,690円
体操着半そでシャツ	2,980円	
ショートパンツ	2,680円	
名札(1年生)	170円	(2年生以上) 6,670円
名札(2年生以上)	150円	

その他、上履きや鞆などについては、自由購入品となっている

### 3. 教育計画(学校行事)について

## 教育計画(学校行事)について

交流行事等に関するご意見(意見聴取会・アンケートから)

### 【保護者】

- ・上富小のよさも生かしながら統合できるような交流ができるとよい
- ・保護者同士の交流、保護者の合同行事も考えられるとよい

### 【児童】

- ・新しいイベントをしたい、三芳小でも上富小の行事を取り入れる

### ○事務局案

統合前から交流をして「よりよい学校づくりをする」という雰囲気醸成する

- ・音楽会や交流会、低学年でオンライン交流などを行う
- ・全校遠足や児童会での交流、林間学校を2校で一緒に行く
- ・上富小の2年生が給食センターに行く際に、三芳小と交流する
- ・学校運営協議会やPTAの交流、教員同士の交流を行う
- ・三芳小のワイワイ集会を一緒に行う
- ・とめっこいもまつりに三芳小を呼んで交流する
- ・三芳小の開校記念行事、上富小の閉校記念事業などを行う

## 教育計画(学校行事)について

### ○事務局案

統合後も、三芳小学校、上富小学校、それぞれの特色や良さを生かした教育活動を展開していく

統合することにより、さらによりよい教育活動ができるよう、子どもや保護者、教職員、地域住民の意見も踏まえて検討する

### 【世界農業遺産の町としての教育】

世界農業遺産に関する武蔵野の落ち葉たい肥農法の学習については教育政策「MOVEプラン」に位置付け、町内全ての学校で学びを進めている

小学校では、地割見学や社会科で探究的な学びをしており、中学校では、担当課を学校に招き、落葉たい肥農法の概要や世界農業遺産の登録までの歩みについて講義を受けている

今後も三芳町の特色ある地域を知る学習を通して、郷土愛とともに持続可能な環境について考えを深めていけるよう、学習を継続していく

## 4. 心のケアについて

## 心のケアについて

- 学校統合の際は、慣れ親しんだ学校を離れることや、新しい環境への対応、先生や友だちが変わることで、子どもたちの戸惑いや不安、ストレスに対するケアが大切となる

### ○事務局案

- 統合前の上富小学校のスクールカウンセラーを2名体制にする
- 統合後の三芳小学校の教育相談員を1名増員し、2名体制にする
- 学級編成や教職員人事について配慮する
- 教職員が連携して子どもの様子を組織的、継続的に見守り、情報共有する体制を作る

一人ひとりが相談しやすい体制を確保し、子どもの心に寄り添っていきます。

# 5. その他について

## 放課後の過ごし方について

### ○事務局案

- 学校統合をした場合、三芳小学校の学童保育室と放課後子ども教室に上富小学校の子どもたちを受け入れる予定  
安心して放課後を過ごせる居場所を提供する

## 跡地利用について

### ○事務局案

- 上富小学校の跡地利用については、これまで政策研究所の研究課題の一つとして検討を進めてきた  
今後、子どもたちの意見等もふまえて、町全体で検討していく

## おわりに

- 三芳町教育委員会といたしましては、子どもの学びが充実し、安心・安全に学校生活を送ることができる、魅力ある学校づくりに引き続き取り組んでまいります
- 皆様のご理解とご協力をお願いいたします



ご覧いただきありがとうございました。